

『おかしな数字』を見抜くための 財務諸表の前期比較テクニック(ケーススタディ編)

～実際に前期比較分析を行い、「おかしな数字」を発見してみよう～

●開催要領●

●日 時● 2019年 8月5日(月) 13:00～17:00

●会 場● 企業研究会セミナールーム (東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

講師紹介

(株)ヴェリタス・アカウンティング 代表取締役社長・公認会計士 山岡 信一郎 氏

【講師略歴】1993年3月慶應義塾大学経済学部卒業。1994年10月公認会計士第2次試験合格 監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)入所。国内監査グループに所属。主に東証一部上場企業の監査に従事。東証一部上場企業では、大手メーカー、システム開発会社、技術者派遣会社等の現場主任として法定監査を行う。日本公認会計士協会実務補習所(現一般財団法人会計教育研修機構実務補習所)実務補習所委員として、補習所クラス担任に3年間従事するとともに、実務補習所の講師も担当する。2007年10月 監査法人トーマツ退所後、株式会社ヴェリタス・アカウンティング設立、代表取締役社長就任、弁護士の父とともに山岡法律会計事務所設立、パートナーとして就任。現在に至る。内部統制報告制度や IFRS(国際財務報告基準)についてのコンサルティング業務が中心となっている。また、上場会社の社外監査役、会計顧問も務めている。【著書】『『おかしな数字』をパッと見抜く会計術』『判断に迷う仕訳を起こせる会計術』(いずれも清文社)、他にも「旬刊経理情報」(中央経済社)等専門誌への論文多数。

●ご参加頂きたい方●

監査役、内部統制、内部監査、経理・財務、審査管理部門にご所属されている担当の方々

■受講料:1名(税込み、資料代 含む)

正会員	32,400円(本体価格 30,000円)
一般	35,640円(本体価格 33,000円)

■参加要領

当ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。後日、(開催日1週間前～10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

*正会員登録の有無など、よくあるご質問(FAQ)は、当ホームページでご確認いただけます。

((セミナー・会員研究会)→[よくあるご質問])

*お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。

*最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

*申込書をご送信頂く際はくれぐれもFAX番号をお間違えないようご注意ください。

■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2 麹町 MFPR 麹町ビル 2F
TEL 090-6797-1511 (鈴木)・03-5215-3511 (代表)
E-mail a-suzuki@bri.or.jp/FAX 03-5215-0951

当ホームページよりお申込みいただくのが便利です。

企業研究会 セミナー Q 検索

※書面にてお申込みの場合には下記申込書をご記入の上、FAXにてお送りください。

191348-0606		財務諸表の前期比較テクニック(ケーススタディ編)	
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

8月 5日
(月)

【開催にあたって】

当講座は、子会社から提出される連結パッケージや、取引先の財務諸表だけを読んで、「おかしな数字」がないか、分析しなければならない担当者が対象となっております。ケーススタディが中心となっておりますので、具体的に何を行えばよいのか、イメージしやすく、実務ですぐに役に立つ講義内容となっております。是非、皆様のご参加をお待ちしております。尚、サブテキスト書籍として、講師最新著『決算書の前期比較術』（清文社）を当日配付します。

13:00

1 財務諸表の前期比較

【ケーススタディ】財務諸表の前期比較を行い、「おかしな数字」を抽出してみましょう

- ・製造業 A 社のケース
- ・サービス業 B 社のケース

【ケーススタディ】抽出された「おかしな数字」はどうか対応すればよいのか考えてみましょう

2 決算資料の前期比較

【ケーススタディ】勘定科目別の内訳資料の前期比較を行い、「おかしな数字」を抽出してみましょう

- ・預金内訳
- ・売掛金内訳
- ・売上高・売上原価内訳
- ・固定資産増減明細
- ・販売費及び一般管理費明細 など

途 中

休 憩

あ り

3 オーバーオールテスト

【ケーススタディ】計上額に異常がないかどうか、オーバーオールテストを実施してみましょう

- ・支払利息
- ・減価償却費
- ・人件費

【ケーススタディ】推定値（理論値）とかい離した場合の対応方法を考えてみましょう

- ・差異金額、差異率の考え方
- ・さらに検討をすすめるかどうかの判断

4 実際の財務諸表を使ったケーススタディ

【ケーススタディ】不正は発見できるか？

- ・実際に不正会計が行われた C 社のケース

17:00

（注）当日、電卓をお持ちください。